

ビジネスアイデアの概要

- 現在、畜産業における受精卵培養は人手に大きく依存している。これにより、①ヒューマンエラー、②成績のばらつき、③人手不足、④技術の属人化、といった課題が生じている。
- これらの課題を解決するため、学習機能を備えた自動培養ロボットシステムの事業化を目指す。

ビジネスアイデアを事業化するための課題

- 簡易な培養手技を自動実行するプロトタイプの開発
- 培養の精度・速度・対応範囲の向上に向けた技術開発
- ロボットシステム提供に向けた市場調査

事業化の見通し

簡易な培養手技を自動実行するプロトタイプを開発した。
また、受精卵の情報から妊娠確率を予測するAIモデルも構築した。
今後は、培養の精度・速度・対応範囲を向上させる技術開発を進め、現場の生産性向上に資する製品化を目指す。

事業者情報

櫻山裕之 (東京大学D1)
栗津勇佑 ((株)トータルハード マネージメントサービス)
小池紀洋 ((株)トータルハード マネージメントサービス)

ビジネスアイデア概要図等

